

地域の皆様
保護者の皆様

横浜市立笹山小学校
校長 三瓶 徹

平成29年度 笹山小学校年度末学校アンケート結果報告

校庭の桜のつぼみも膨らみかけ、春の足音が近づいています。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度も残りわずかとなって参りました。先般ご協力いただきました「笹山小学校 学校評価アンケート」(保護者・全校児童)の結果と地域の皆様からのご意見をまとめましたのでご報告いたします。いただきましたご意見は次年度に活かしていきたいと思っております。

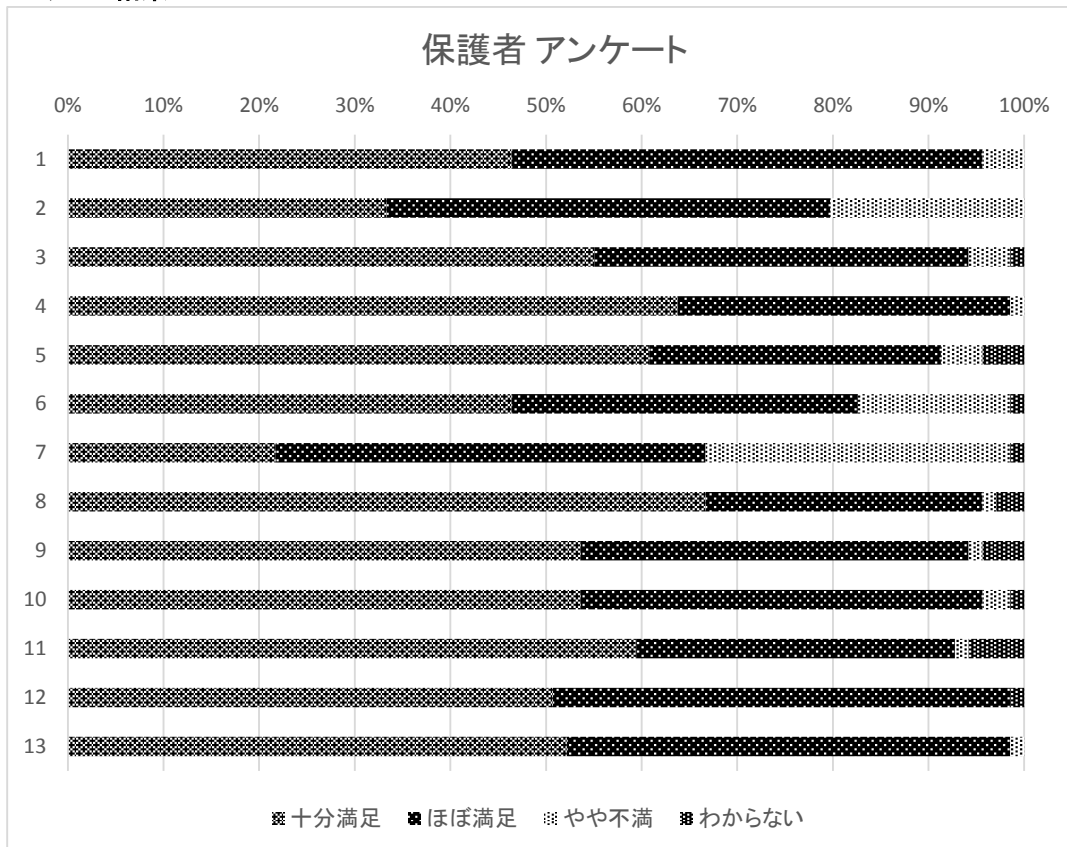
1 保護者 アンケート集計結果 (回答延べ人数 69名)

(1) アンケート項目

- ① お子さんは、学校の勉強に積極的に取り組んでいる。
- ② お子さんは、家庭学習に積極的に取り組んでいる。
- ③ お子さんは、異学年の児童とコミュニケーションを図るなかよしグループでの活動を楽しみにしている。
- ④ お子さんは、遠足や宿泊体験学習などの行事を通して、集団の中で学び合う力をつけている。
- ⑤ お子さんは、自分のことを大切にしている。
- ⑥ お子さんは、積極的にスポーツや外遊びをしている。
- ⑦ お子さんは、読書に親しんでいる。
- ⑧ お子さんは、学校のきまりを守って学校生活を送ろうとしている。
- ⑨ 教員は、学習環境を整え、分かりやすい授業に努めている。
- ⑩ 教員は、お子さんを理解して指導している。
- ⑪ 教員は、保護者の相談に親身になって応じている。
- ⑫ 学校は、授業などで地域の人と積極的に交流している。
- ⑬ ①～⑫までの項目をふまえ、笹山小学校全体としての評定をお願いします。



(2) アンケート結果



(3) アンケート結果から

【今年度の成果】

ほとんどの項目につきまして、80～95%の方が「十分満足」または「ほぼ満足」とご回答いただきました。これは、本校の教育活動について、地域・保護者の皆様からご理解をいただいているものと受け止めることができました。

＜行事活用・学び合い学習＞

項目④「お子さんは、遠足や宿泊体験学習などの行事を通して、集団の中で学び合う力をつけている」ことについて高い評価をいただきました。

これは児童同士が仲よくかかわれており、クラスが少人数であるために、自分の考えや意見を伝えやすいことや分担された役割を一人ひとりが責任をもってやり遂げながら協力し合う状況であることにも起因していると思われます。これからもこの学習環境を活かして行事や学習づくりを行っていきたいと思います。

さらに今後は、児童が教師の指示を待っていたり、指示に従ったりするだけでなく、自分たちで判断して活動を創り出す喜びを味わいながら、より主体的に取り組めるよう支援していきたいと思います。

＜地域交流＞

項目⑫「学校は、授業などで地域の人と積極的に交流している」でも高い評価を受けております。年間を通して、安全パトロールやフラワーボランティア・読み聞かせボランティア・学習ボランティアの皆様からのご支援を多分にいただきました。

教科としては、国語・社会・図工・家庭科・総合的な学習や特別活動の授業において、実際に体験させていただいたり専門的なご指導をいただいたりしました。このように多くのボランティアの皆様のおかげで子どもたちの学びが深まりました。

今後も、地域素材のよさを生かした学習づくりを通して、地域に出かけたり地域の方々をお招きしてご支援いただいたりすることが、度々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

＜児童理解・児童指導＞

項目⑩「教員は、お子さんを理解して指導している」についても高い評価をいただきました。日頃から全職員でお子さんを見守り支援していますが、これからも子どもたちと職員とがよい関係を築きながら、一人ひとりのよいところを伸ばし、よりよい成長を促していきたいと思います。

【今年度の課題】

家庭学習、読書・体力づくりについては、取組の課題を把握し、来年度は支援に力を入れながら取り組んで参りたいと考えています。

＜家庭学習＞

項目②「お子さんは、家庭学習に積極的に取り組んでいる」については、「十分満足」と「ほぼ満足」を合わせても80%でした。家庭学習の時間は、本校と横浜市平均との比較では大きな違いは見られませんが、積極的に取り組んでいるとは言えない状況にあると思われます。

家庭学習の内容としては、繰り返し練習などの基礎基本の力の定着に加えて、子どもたちが主体的に取り組める内容のものを考えていきたいと思います。ご家庭とも連携をとりながら、家庭学習での取組の努力をしっかりと学校でも認めていきます。

＜読書＞

項目⑦「お子さんは、読書に親しんでいる」については、「十分満足」「ほぼ満足」を合わせて65%の結果となっています。放課後のお子さんの時間の使い方は、各自異なっていることと思いますが、学校では学校図書館を活用した授業が増え、朝の読書タイム等で本を読む時間も設定されています。毎月、保護者や地域の方が読み聞かせに来てくださっています。また今年度の読書月間には読書郵便に取り組み、お薦めの本を紹介し合いました。

しかし、読書が習慣づけられたり、本や資料を進んで学習に活かしたりするまでには至らないところがあります。読書は言葉を覚え、考える力を高め、豊かな心を養い、調べ学習をするうえでも大変により取組です。

今後は、読書タイムの在り方を改善し、子どもたち自らが主体的に読書をするように支援していきたくと計画しています。

＜体力作り＞

項目⑥「お子さんは、積極的にスポーツや外遊びをしている」では「十分満足」「ほぼ満足」を合わせて82%の結果となっています。これは放課後の様子を含めた回答だと思いますが、学校の取組といたしましても、休み時間の外遊びの励行や、年間通したストレッチ・鬼ごっこ等の取組で体力を付けていきたくと考えています。

今年度の第2回学校保健委員会（2月1日実施）で、横浜市体育協会のご指導のもと作成した「1分間ストレッチ」を、朝の会の時間に各クラスで取り組んでいます。来年度も継続して取り組むことを計画しています。

2 地域からのご意見

(1)「まちと共に歩む学校づくり懇話会」や地域の方からのアンケートから

- ・自分たちの小学校時代と違い、教えるというよりも考えさせるという授業だと感じた。
- ・学力を付けることは大事だが、生きる力も付けてほしい。
- ・外国語の授業を楽しみにして来た。遊び感覚で学び、見ていても楽しめた。
- ・授業の中に地域の人が入ることが増えた。地域の人と子どもたちが接する機会が増え、大変よいことだと思う。
- ・掲示物に写真が多く、来校者に学校での様子や地域の人材を生かしているのがよく分かる。
- ・授業では、教師と子どもの距離感が近いのがよい。
- ・子どもたちは緊張せずのびのびと学習していた。温かい感じがした。
- ・人権学習会（12月1日実施）を参観した。生きた教材であり、大人も感動した。
- ・子どもたちは悩み事があっても先生に相談することは少ないのではないかと。上の学年の児童がたしなめたり声をかけてあげたりするなど異学年のかかわりの中でできないだろうか。
- ・まちで子どもたちに会うと、声をかけてくれるようになった。
- ・安全パトロールの方に子どもたちからの挨拶が少ないようだ。
- ・再編統合まで、小規模校のよさを存分に満喫してほしい。
- ・再編統合に向けて両校のPTAも交流を始め、風通しを良くしていこうと思っている。
- ・地域の福祉施設との交流などはいかがか。
- ・調整区域に住む保護者から、上菅田小や竹山小の情報がほしいという声を聞いている。

(2)地域の方からのご意見を受けて

学校地域コーディネーターの方を中心にして、ささやま丘の上ミュージアム、安全パトロールやフラワーボランティア、読み聞かせボランティア、学習ボランティアの方々のご協力をいただきました。学習ボランティアや夏休みの工作教室、冬休みの書道教室など今年度から始まったものもあります。来年度も地域のよさを授業の中に取り入れていけるよう考えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

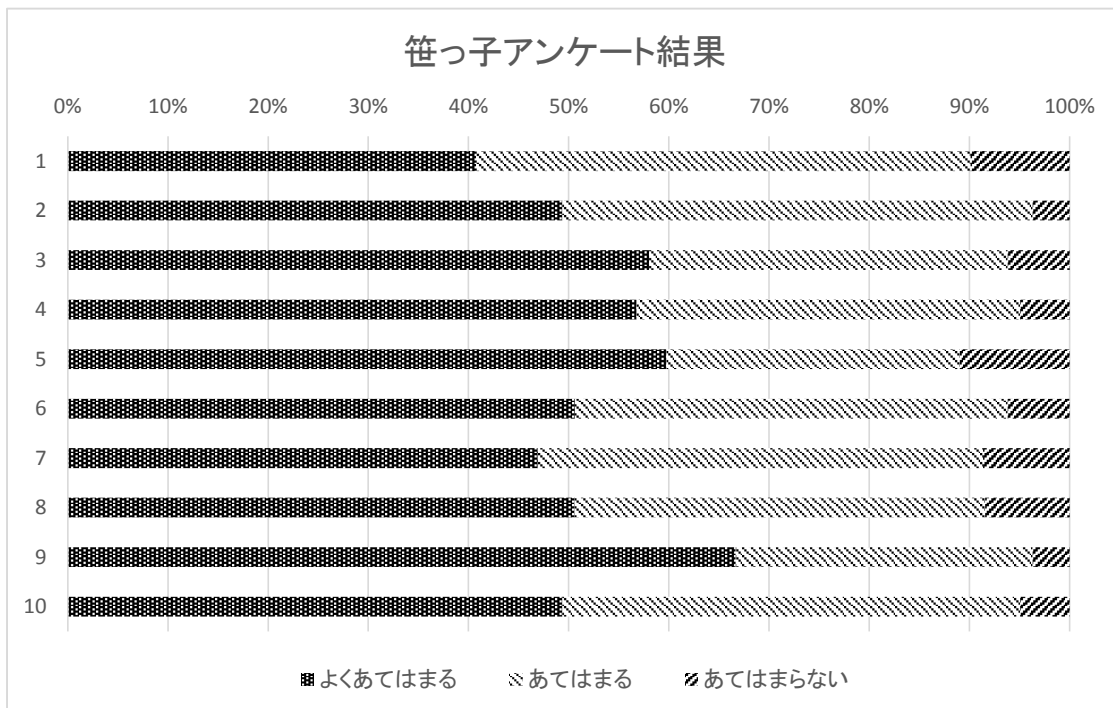
3 児童へのアンケート集計結果（回答延べ人数 82名）

(1)アンケート項目

- ① 学校で、自分のよいところが出せている。
- ② 自分や友達のよいところを見つけようとしている。
- ③ 自分や友達を大切にし、心や体を強くしていこうとしている。
- ④ 授業はよく分かると感じることが多い。
- ⑤ 授業は楽しいと感じることが多い。
- ⑥ 自分で考えて問題を解決するような力がついてきている。
- ⑦ 自分の思いを進んで伝え、友達と分かり合おうとしている。
- ⑧ 仲間外れになったり、いじめられたりしないで楽しくすごしている。
- ⑨ なかよし活動などで、ちがう学年の人のことがよく分かり、楽しく活動できている。
- ⑩ 学校以外の人や施設や自然を、自分たちの学習に役立てている。



(2)アンケート結果



(3)アンケート結果全体を見て

多くの項目において「よくあてはまる」または「あてはまる」という回答を合わせると90%を超えています。特に、②「自分や友達のよいところを見つけようとしている。」⑨「なかよし活動などで、ちがう学年の人のことがよく分かり、楽しく活動できている。」では、95%を超えていました。

本校の児童は自己有用感や、自分だけでなく相手のことを思いやる気持ちが高く、また学習を楽しんでいることが分かりました。

子どもたちがこれからも安心して学校生活を過ごせるように、子どもたちのよいところを大切に伸ばしながら、見守っていきます。道徳教育や人権教育をしっかりと行い、自分だけでなく友達のことを思いやる気持ちを育み、いじめを許さない学校風土を今後も作っていききたいと思います。

(4)児童の言葉(抜粋)

1年

- ・幼稚園のときよりできることが多くなった。
- ・友達のことをよく考えることができた。
- ・友達と仲良くし、けんかを止めることができた。

2年

- ・九九ができるようになってうれしい。鉄棒が得意になった。字がきれいになった。
- ・図工でカッターナイフなど危ない道具も使えるようになった。
- ・給食をいっぱい食べるようになった。

3年

- ・算数の計算が速くなった。正確になった。割り算もできるようになった。
- ・手をたくさんあげて発表できた。
- ・英語が書けるようになった。漢字をたくさん覚えられた。



4年

- ・文章問題や難しい問題が解けるようになった。
- ・分からない問題も自分で解決できるようになった。
- ・友達のことを考えて行動することができるようになった。けんかが少なくなった。

5年

- ・授業が楽しいと思うようになった。授業で分かることが増えた。発言が増えた。
- ・自分で解決できるようになった。間違えたときに、自分で考えるようになった。
- ・友達のよいところを見つけるようになった。困っている人に声を掛けるようになった。

6年

- ・授業が楽しくなった。あきらめずに問題を解決できた。文章を書くのが上手になった。
- ・人の気持ちが分かるようになった。友達の大切さが分かった。
- ・忙しかったけど協力して物事を進められた。下級生をリードできるようになった。

3組

- ・縄跳びがたくさん跳べるようになった。ミシン、糸のこなどを使えるようになった。
- ・書ける漢字が増えた。マラソンが速くなった。
- ・下級生に優しくすることができた。

